

2015年4月9日

クローバー・アセットマネジメント株式会社

代表取締役社長 多根 幹雄

4月と言うと入社式のシーズンですね。実はクローバーの関連会社の入社式で、創業以来初めてというちょっとした事件が occurred。毎年、新入社員の代表者が、社長の前で宣誓をするのですが、今回初めて外国籍のイタリア人の女性選ばれ、流暢な日本語で見事な宣誓をしてくれたのです。しかも、他の新入社員全員がダークスーツなのに対し、彼女だけが真っ白なスーツ（しかも超ミニ）ですからかなり強烈なインパクトです。神前で二拍一礼も彼女が代表で行いましたが、神様もさぞかしびっくりされたことでしょうね。懇親会の席でも、記念撮影に引っ張りだこでした。おそらく彼女のことは、当日出席した全員が一生忘れることはないでしょう。

日本はかつて世界の工場として君臨し、圧倒的な経済力を謳歌した時代がありましたが、今やその地位を中国に譲り、工業社会から情報社会に大きく変化してきました。これは先進国共通の流れであり、やがてBRICSも追随してくるでしょう。

工業社会の時代では、個々の人間は生産性を上げる為、個性的であるよりも「同じ」であることが求められました。また、企業は価格競争を勝ち抜く為より大きくなること、つまり「量」を追求することが有効でした。

ところが、情報社会になると様変わりです。今度は「違い」が求められるようになって来ました。モノがあふれている社会では同じものはいくら安くても価値が無いのです。その為「量」よりも「質」の追求が大事になります。そして高い「質」を生み出す為には、異質な人間が、密度の濃い相互作用を行う必要があります。人間も個性、つまり他と「違う」ことに価値があるようになります。イタリア人の新入社員がより魅力的に見えたのも、こういった時代背景のせいかもしれませんね。

さらに面白い「質」の時代の特徴として、規模の原理が機能しにくくなることがあります。最近、食の安全にこだわった地方スーパーが健闘していたり、自動車でも規模の小さいスバルやマツダが特徴のある商品で絶好調であったりする一方、イオンや、あのマクドナルドが苦悩しているのを見るにつけ、そのような思いを強くします。つまり、現在は小が大に勝つことが出来る、下剋上の時代とも言えるのです。

こうしてみると、工業社会から情報社会へ大きく変換している今の時代は、企業の入替わりの時期であり、これからの長期投資に値する成長企業を見極める絶好の機会だといえます。一般的に公開企業の経営者は数値責任がある為、常に「量」を求めたいという誘惑にかられます。特に任期が限られている企業のトップは特にそうかもしれません。そんな誘惑に負けることなく、長期の視点で「質」を追求できるかが、これからの良い経営者かどうかを見分ける重要なポイントとなるでしょう。経営者が目指しているのが「量」なのか「質」なのか、皆様にもしっかりと見極めていただきたいと思います。



さて市場の方もいよいよ「量」から「質」の時代。我々も「質」を追求できる良いファンドを厳選して、「違い」をアピールしたいですね。今後にご期待下さい。

『時 × 空』投資で創る自由な未来

clover  
asset management

# セミナーのご案内



## さわかみ・クローバー合同セミナー「長期投資で創る豊かな未来」

【日時】 2015年4月13日(月)18:30～20:30

【会場】 浅草文化観光センター 5階 大会議室  
東京都台東区雷門2-18-9(雷門前の台東区観光案内施設)

【費用】 無料

【定員】 60名

【講師】 澤上 篤人氏 さわかみ投信 会長  
草刈 貴弘氏 さわかみ投信 CIO  
多根 幹雄 弊社 代表



澤上 篤人氏



草刈 貴弘氏

## 「ますますカッコイイお金の使い方」澤上篤人氏

【日時】 2015年4月18日(土)13:00～15:20

【会場】 メガネの三城 心斎橋本店 3階サロン  
大阪市中央区心斎橋筋1-4-26

【費用】 無料(交流会参加の場合は1,000円)

【定員】 40名

【講師】 澤上 篤人氏 さわかみ投信 会長  
多根 幹雄 弊社 代表



多根 幹雄



## ぷらっと銀座で学ぼう会

【第1回】 2015年4月14日(火)14:00～15:30 「投資信託ってイマイチよくわからない??」

【第2回】 2015年4月21日(火)14:00～15:30 「自分の資産管理～防災の備え～」

【第3回】 2015年4月28日(火)14:00～15:30 「第二の人生(移住・保険・年金)」

【第4回】 2015年5月12日(火)14:00～15:30 「あわてない住宅、教育、介護」

【第5回】 2015年5月26日(火)14:00～15:30 「賢いボタンタッチ～贈与・相続～」

【会場】 弊社 会議室  
東京都中央区京橋3-3-4 京橋日英ビル3階

【費用】 無料(ご希望の回をご予約ください)

【定員】 毎回申し込み先着6名

【講師】 森田久美子氏(1級ファイナンシャルプランニング技能士・CFP)  
田子慶紀(弊社取締役)



## クローバー・アセットマネジメント

03-6262-3923

または

[gyoumu@clover-am.co.jp](mailto:gyoumu@clover-am.co.jp)

『時×空』投資で創る自由な未来

**clover**  
asset management

お申込み

■当セミナーでは、クローバー・アセットマネジメント株式会社が設定・運用・販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。■投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。■当セミナーで示された数値、見通し等は、講演会開催時点のものであり、その正確性を保証するものではなく、将来予告なく変更されることがあります。将来の企業業績、市場環境の変化および運用成果等を保証するものではありません。

## ファンド概況

|      |            |       |        |
|------|------------|-------|--------|
| 基準価額 | 14,599円    | 純資産総額 | 773百万円 |
| 設定日  | 2008年4月24日 |       |        |
| 信託期間 | 無期限        |       |        |
| 決算日  | 毎年2月25日    |       |        |

## 期間別騰落率(%)

| 1ヵ月  | 3ヵ月  | 6ヵ月   | 1年    | 3年    | 設定来   |
|------|------|-------|-------|-------|-------|
| 1.62 | 6.92 | 14.30 | 26.47 | 71.35 | 45.99 |

## 分配金(円)

## 直近3期を表示

| 5期<br>( '13/2/25 ) | 6期<br>( '14/2/25 ) | 7期<br>( '15/2/25 ) | 累計 |
|--------------------|--------------------|--------------------|----|
| 0                  | 0                  | 0                  | 0  |



## 基準価額と純資産総額の推移



## 運用コメント

3月の米国株式市場は、上値が重い展開となりました。特に、中盤、FOMCが利上げに関する慎重姿勢を表明するまでは、早期利上げに関する警戒感の強い動きでした。後半も、ギリシャ問題を抱えるヨーロッパ経済の不安定感、イスラム国（ISIL）関連などの懸念要因もあり終始、さえない結果となりました。為替については、利上げに対する慎重姿勢や、ドル高による米国企業の業績悪化も示唆されるようになって来ており、ドル円も119円後半から120円前半の範囲で大きな動きはありませんでした。

一方、日本株式市場は、安定した為替、原油安、賃上げ機運など好環境の中、後半にかけ19778.60円まで値を上げました。利益確定の小幅な下げはありましたが、全体としては、順調な続伸の方向が続きしました。2月に続いて、完全に米国株式市場との連動から解き放たれたようです。中盤には、I Rに消極的であったファナックが、積極姿勢に転換したことは、日本企業のコーポレートガバナンス改革の進行を象徴する動きとして海外の投資家から好感されたようです。

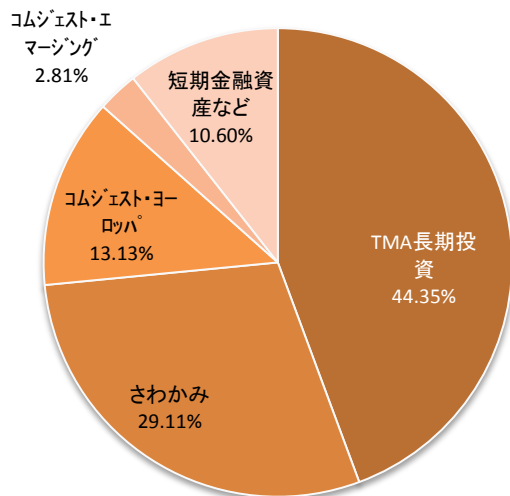
こうした中、らくちんファンドは、さわかみファンド、TMA長期投資ファンドが好調だったものの、それ以外の海外個別株ファンドの不振で前月比+1.62%という結果に終わりました。

月中では、回復が見込まれるヨーロッパ市場を考え、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンドに追加投資いたしました。また、同時にキャッシュの比率を高め買い場に対する準備を行いました。

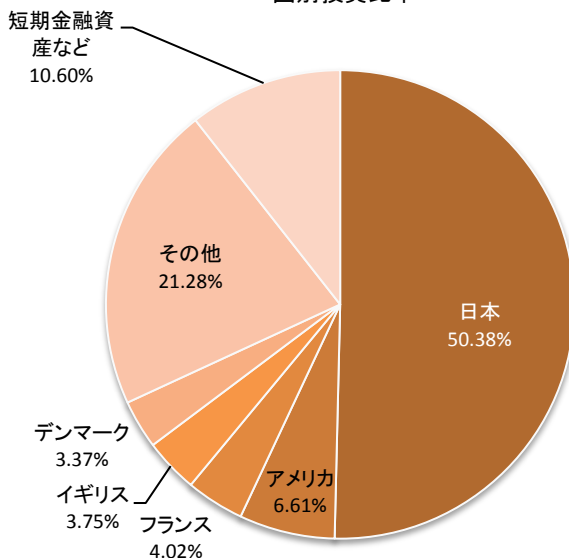
今後も長期的には日本株式市場は、上昇を続けると予想しておりますので、大きな調整のタイミングでは、積極的に買いを入れてゆきたいと考えています。

## ポートフォリオの状況

資産構成比率



国別投資比率



## らくちんファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入銘柄数:217銘柄)

| 順位 | 銘柄名                  | 事業内容                            | 組入比率  | 組入れファンド名 |
|----|----------------------|---------------------------------|-------|----------|
| 1  | キーエンス                | ファクトリーオートメーション用センサの製造           | 1.91% | TMA長期投資  |
| 2  | トヨタ自動車               | 世界最大級の自動車メーカー                   | 1.57% | さわかみ     |
| 3  | ブリヂストン               | 世界最大手のタイヤメーカー                   | 1.48% | さわかみ     |
| 4  | リンナイ                 | 給湯、厨房、空調等の各機器を製造                | 1.42% | TMA長期投資  |
| 5  | エア・ウォーター             | 総合ガス企業                          | 1.37% | TMA長期投資  |
| 6  | ミスミグループ本社            | 機械加工製品の企画・販売                    | 1.33% | TMA長期投資  |
| 7  | エムスリー                | インターネットを利用した医療関連サービスの提供         | 1.29% | TMA長期投資  |
| 8  | NOVO NORDISK A/S-B   | デンマークに本社を置く糖尿病ケアの世界的リーディングカンパニー | 1.24% | TMA長期投資  |
| 9  | ファナック                | 工作機械装置で世界首位                     | 1.24% | TMA長期投資  |
| 10 | NESTLE SA-REGISTERED | 世界最大の食品・飲料メーカー(スイス)             | 1.20% | TMA長期投資  |



## ファンドの特色

### ①「長期投資」を実現するためのファンドです。

- ・長期的に安定した運用が行われているファンドであり、かつ将来にわたってもその運用が継続される可能性が高い複数のファンドを厳選します。
- ・運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替え（現預金と組入れファンドの投資比率の変更）を大前提とし、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っています。
- ・運用にあたり、特定のベンチマークを設けることはしません。また、短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

### ②投資対象ファンドを厳選します。

- ・主として日本株、海外株等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
- ・ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視します。
- ・運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件です。
- ・基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかも重要な判断基準です。

### ③日本株および海外株へ広く投資します。

- ・投資対象であるファンドを通じて、先進国から新興国まで幅広く世界の株式を中心に投資します。
- ・国や企業の高い成長性を世界に求める一方で、グローバルな成長による恩恵を受ける日本企業へも日本株ファンドを通じて、積極的に投資を行います。
- ・日本株と海外株の投資比率は50:50を当面の運用目標としておりますが、相場環境等により、この比率は大きく変わることがあります。

### ④ファンド・オブ・ファンズの仕組み

- ・個別の株式、債券等に直接投資するのではなく、株式や債券等に投資している複数の投資信託に投資します。

## ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

**投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。**

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

＜お申込みの際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください＞

## ファンドにかかわる費用

|                  |                                                                                                                               |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入・換金手数料         | ありません                                                                                                                         |
| 信託財産留保額          | ありません                                                                                                                         |
| 運用管理費用<br>（信託報酬） | 年率0.972%（税抜き0.90%）<br>組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.3%（概算）                                                                      |
| その他費用・<br>手数料    | 監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等は、純資産総額の年0.108%（税抜0.10%）を上限として投資信託財産から支払うことができます。<br>*これらの費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 |

## 業務管理部からのお知らせ

### 【ご登録内容の変更はございませんか？】

新年度が始まり、お引越など新生活の準備で何かと忙しい方もいらっしゃるかと存じます。

ご転居等によりご住所、ご連絡先に変更はございませんか。

お取引に関する重要な書類や大切なお知らせなどがお届けできなくなりますので、ご変更がございましたら、下記の手順にて必ず変更手続きをお願い致します。

①「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページまたはお電話にてご請求ください。

②「登録事項変更届」にご記入・ご捺印のうえ、ご返送ください。

※弊社ご登録印であることをご確認ください。

※新住所が記載された「ご本人様確認書類」（運転免許証の写し・住民票等）をご同封ください。

③後日、弊社より「登録内容変更の控え」を発送いたしますので、内容をご確認ください。

なお、メールアドレスのご変更は、弊社ホームページまたはお電話でもお手続きを承ります。

＜ホームページの場合＞

「各種お手続き」→「メールアドレス・レポート受取方法変更」フォームよりご連絡ください。

＜お電話の場合＞

「メールアドレスが変更となった」旨をお申し出ください。

### 【「お取引残高報告書 兼 残高照合通知書」の発送について】

「お取引残高報告書 兼 残高照合通知書」を発送いたしました。

今回は、2015年1月～3月末までに、受渡日が到来したお取引をされたお客様と最後のお取引から1年が経過したお客様が発送の対象となっております。対象となるお客様のうち、残高がある方には、3月末時点の基準価額での時価評価が記載されておりますのでご確認ください。

なお、「お客様マイページ」にご登録頂きました方は、書類の発送はいたしておりませんので、マイページから閲覧してください。

### 【交付運用報告書発送のお知らせ】

2015年2月25日（かいたく・らくちん・コドモ各ファンド）、3月3日（おふくろファンド）の決算を行い、過日、ファンドの運用状況等をご報告する「交付運用報告書」を発送いたしましたので、ご一読ください。

ご不明な点等ございましたら、弊社業務管理部までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部 （受付時間：平日9時～17時）

TEL:03-6262-3923 / E-mail: [gyoumu@clover-am.co.jp](mailto:gyoumu@clover-am.co.jp)

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります）に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。